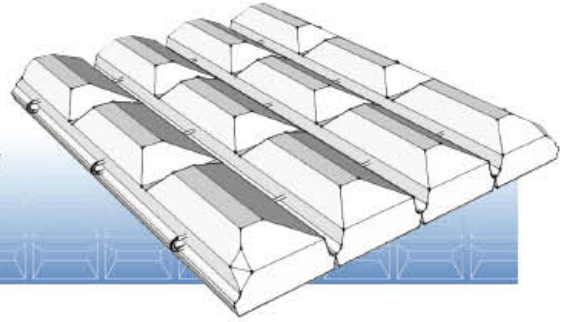


CV柔

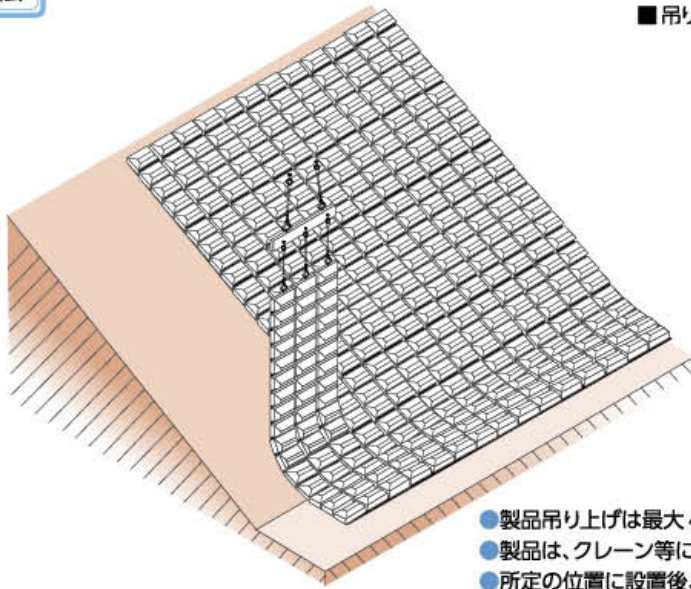
ブロックマット系連節ブロック



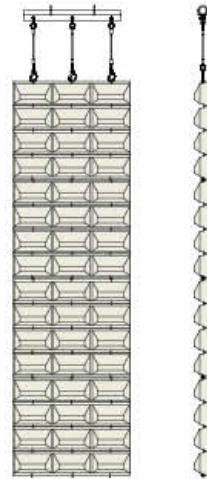
CV柔の特長

- 連節ブロックに必要な現場における連結線の施工が不要なため、端部における結束等の作業がなく施工性が良くなります。
- ブロック単体は、台形ブロック4個を鋼線で一体とした構造なので、可とう性に優れ地盤に良くなじみます。
- 施工は最大4mタイプのブロックをクレーンにて敷設でき工期短縮が図れます。
- 比較的流れが緩やかで、1:1.5より緩い勾配の河川、溜池などに使用できます。
- 縦方向の連結は製品から突き出したフックに鋼線を通すことで連結し、屈とう性を確保できます。
- 横方向はシャックルを使用する事で簡単に連結できます。
- すべてのブロックはマット状に一体化します。
- ブロック表面は凸凹状になっているので、流速を低減する効果があります。
- ブロック表面は施工した後階段状となり、万が一人が転落しても安全に登ることができます。

施工方法



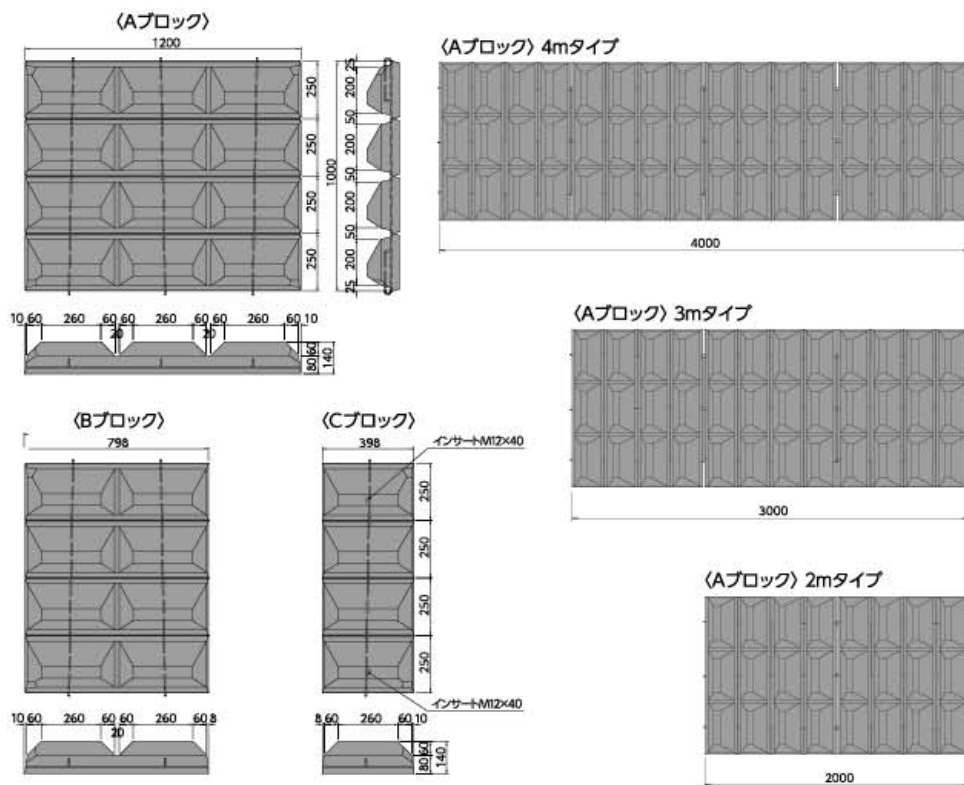
■ 吊り上げイメージ



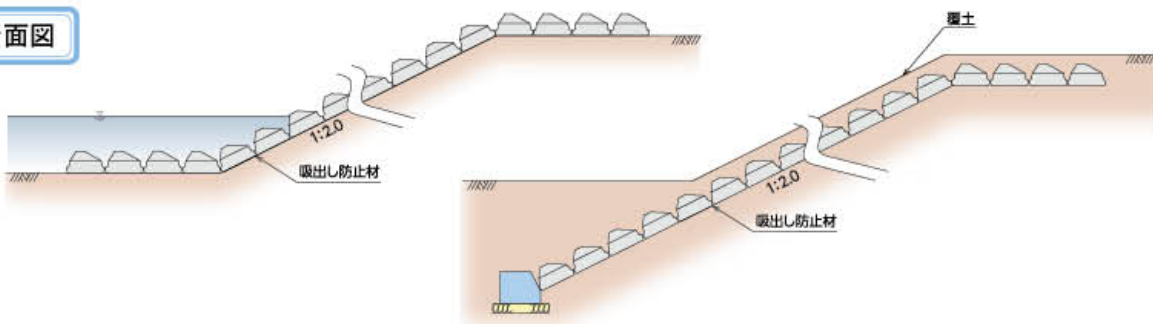
- 製品吊り上げは最大4個(4m)まで連結して施工できます。
- 製品は、クレーン等にて片側又は両側を吊り、所定の位置に設置します。
- 所定の位置に設置後、縦方向と横方向を連結します。



単体図



標準断面図



参考歩掛表

100 m²当り

呼び名	使用個数 (個)	世話役 (人)	普通作業員 (人)	クレーン25t (日)	諸雑費 (%)
Aブロック					
4mタイプ	20.83	0.39(0.50)	1.93(1.49)	0.39(0.50)	8
3mタイプ	27.78	0.41(0.53)	2.04(1.60)	0.41(0.53)	8
2mタイプ	41.67	0.43(0.57)	2.16(1.72)	0.43(0.57)	8

※日当り施工量には、連結金具の設置も含まれます。

※バックホウ施工の場合は、() 内の数値を適用してください。

※現場条件に応じて、クレーン施工とバックホウ施工を選定してください。 ※連結金具の数量は現場に応じて適宜変更を行って下さい。

呼び名		寸法 (mm)	参考質量 (kg)	設置面積 (m ²)	価格 (円)	中詰土砂量 (m ³ /個)
Aブロック	4mタイプ	1200×4000×140	992	4.8		0.212
	3mタイプ	1200×3000×140	744	3.6		0.159
	2mタイプ	1200×2000×140	496	2.4		0.101
	1mタイプ	1200×1000×140	248	1.2		0.053
Bブロック	1mタイプ	800×1000×140	165	0.8		0.035
Cブロック	1mタイプ	400×1000×140	81	0.4		0.018